

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
第17回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●平成28年10月7日（金）9:30～11:30、上尾市コミュニティセンター

【議事結果】

- ① 「サクラソウの保全・再生に取り組んで行く」との発言を議事録に記載しておいてほしい。
- ② 前回の協議会で「浅い開放水面をもっと広くしたい」との意見への対応として、下池では掘削に際し水面が形成されるよう工夫すること、上池では協議会委員でアイデアを出し合っ出て出来ることを検討することとし、次回の協議会に提案する。提案に際し、事務局案の文章の変更が必要であり、変更内容について、委員長が考えて提示する。
- ③ 11/13のイベントはモトAのハリエンジュ伐採と鳥類観察を実施する。簡単なチラシを作って10/16のイベント時から配付する。2/12のイベントはモトDのシンジュ伐採と鳥類観察を予定し、細部はあらためて検討する。
- ④ 次回の委員会で中池を歩き、通路・看板について検討する。
- ⑤ オブザーバー視察については、委員長と事務局で候補となった大学や観光関係機関を訪問して話しをしてみる。また、県の観光担当に対しては委員長のほうで確認する。
- ⑥ マーケットリサーチは前回委員会で確認した進め方で引き続き実施する。

【主な議事内容】

◎報告事項

●委員会の議事録

- ・ 「サクラソウの保全・再生に取り組んで行く」ことを何度も発言したはずだが議事録に残らないのは不満である。議事録に残すようにしてほしい。

◎協議事項

●実施計画の見直しについて

- ・ 前回の協議会で「浅い開放水面をもっと広くしたい」との意見が提示されたことへの対応として、下池では掘削に際し水面が形成されるよう工夫すること、上池では協議会委員でアイデアを出し合っ出て出来ることを検討することとし、次回の協議会に提案する。提案に際し、事務局案の文章の変更が必要であり、変更内容について、委員長が考えて提示する。

●維持管理イベントについて

- ・ 11/13のイベントはモトAのハリエンジュ伐採と鳥類観察を実施する。簡単なチラシを作って10/16のイベント時から配付する。ほか、細部は以下の通りとする。
 - 定員は20人とする。
 - 挨拶は堂本委員長、全体の説明は川島副委員長、伐採のリーダーは菅間委員、鳥類観察のリーダーは小川委員とする。
 - 鳥類観察用の器具は各委員の所有物を持参して使用する。
 - 本田航空・レインボーモータースクールへの協力要請は事務局から、その他の外部関係者への協力要請は各委員から実施する。

- ・ 2/12 のイベントはモトDのシンジュ伐採と鳥類観察を予定し、細部はあらためて検討する。11/13の結果を踏まえて、参加者の「楽しみ」も盛り込めるように企画する。

●管理用通路・看板について

- ・ 自然に対する影響を与えない前提で、なるべく多くの方に自然と事業を知って頂くため、必要な場所においてはバリアフリー対応を検討する。
- ・ 中池が一番人に見てもらいやすいので、中池においてはその視点を重視する。
- ・ 非舗装の通路は、生物にとっても景観面においても良い場合が多いため、留意しておく。
- ・ 認定道路については自然再生事業で整備はできないため、全体の位置づけを踏まえたあるべき方針のもとで、管理者と協議する。
- ・ 看板については耐久性が重要であるため、次回の委員会までに事務局で情報を収集して提示してほしい。掲示する場所・目的による使い分けが必要と想定される。
- ・ 生徒・学生に制作協力してもらったり、企業の協賛を得て名前を載せるなど、いろいろな方法が考えられる。
- ・ 次回の委員会で中池を歩き、通路・看板について検討する。

●オブザーバー視察について

- ・ 委員長と事務局で候補となった大学や観光関係機関を訪問して話しをしてみる。また、県の観光担当に対しては委員長のほうで確認する。

●マーケットリサーチについて

- ・ 前回委員会で確認した進め方で引き続きマーケットリサーチを実施する。

●その他

- ・ 次回の委員会は11月9日（水）午前に現地（中池）で開催する。詳細はあらためて事務局より連絡する。
- ・ 下池の工事用道路の枝刈りや伐採について現地確認を行った。
午後、現地にて堂本委員長・川島副委員長・菅間委員と施工業者の立会いにより確認。坂路工事中の迂回路の枝刈りはタケヤクワであり問題ないことを確認した。認定道路外の工事用道路では、予定ルート上のゴマギ、イボタノキについて配慮すること。

以上